





# ボイス メッセージ、履歴、およびディレクトリの使用

次の表に示すように、ボイス メッセージ、履歴、およびディレクトリにアクセスするには、機能ボタンを使用します。



(注) お使いの電話機システムが使用するボイス メッセージ サービスは、会社によって決定されます。ボイス メッセージ サービスの使用方法の詳細については、付属のマニュアルを参照してください。

目的	操作
ボイス メッセージ サービスの個人設定	 (メッセージ ボタン) を押し、音声の指示に従います。スクリーンにポップアップ メッセージ メニューが表示された場合は、該当するメニュー項目を選択します。  システム管理者からボイス メッセージ システムのデフォルトのパスワードが提供されます。セキュリティ上の理由から、デフォルトのパスワードは速やかに変更してください。
新しいボイス メッセージの着信を確認する	電話機で次のインジケータを確認します。 <ul style="list-style-type: none"><li>赤い通知ランプが点灯している。</li><li>封筒アイコン  (ボイス メッセージ アイコン) がスクリーンに表示されている。</li></ul>
ボイス メッセージを聞く、またはボイス メッセージメニューにアクセスする	 (メッセージ ボタン) を押します。  (メッセージ ボタン) を押すことにより、メッセージ サービスに自動ダイヤルされるか、またはスクリーンにポップアップ メニューが表示されます。この動作は、お使いのボイス メッセージ サービスによって異なります。ポップアップ メニューが表示された場合は、Voice Mail または Voice Messages を選択してボイス メッセージ システムに自動ダイヤルします。

目的	操作
着信コール、アクティブなコール、または保留状態のコールをボイス メッセージ システムに送信する	複数の回線またはコールがある場合は、使用する回線またはコールを選択します。 <b>iDivert</b> を押します。 <b>iDivert</b> によって、コールがボイス メッセージ システムに自動的に転送されます。
履歴を表示する	<b>Directories &gt; Missed Calls、Placed Calls、</b> または <b>Received Calls</b> を選択します。各履歴には最大 100 レコード保存されます。
履歴からダイヤルする	リストの項目を選択します。履歴に表示された電話番号の編集（プレフィックスの追加や削除など）が必要な場合は、 <b>EditDial</b> を押します。次に、<< または >> を押して、数値を消去したりカーソルを移動したりします。右または左のナビゲーション ボタンを使用して、番号内を移動することもできます。削除には <b>X</b> ボタンを使用します。
履歴を削除する	<b>Directories &gt; Missed Calls、Placed Calls、</b> または <b>Received Calls</b> を選択します。 <b>Clear</b> を押します。
社内ディレクトリからダイヤルする	<b>Directories &gt; Corporate Directory</b> を選択します（名前は異なる場合があります）。キーパッドで文字を入力して、リストを検索します。名前の一部でも検索できます。リストからダイヤルするには、その番号を押すかまたはスクロールして選択し、オフフックにします。